

公益社団法人 日本水産学会  
平成 28 年度第 4 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 28 年 6 月 11 日(土) 13 時 02 分～16 時 06 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学  
品川キャンパス 2 号館 2 階 200A-2 会議室(東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数  
総数 17 名, 定足数 9 名
- 4 出席理事数 13 名  
(本人出席) 秋山秀樹, 荒井克俊, 菅野信弘, 黒倉 寿, 古丸 明, 佐藤秀一, 青海忠久, 塚本勝巳,  
中田英昭, 萩原篤志, 山下 洋, 良永知義, 和田時夫  
(監事出席) 青木一郎, 北田修一  
(幹事出席) 荒川久幸, 鈴木直樹, 二見邦彦, 小林武志

5 議 案

決議事項

- 第 1 号議案 「平成 28 年度支部交付金の配分額」の件
- 第 2 号議案 「学会賞関連規程の一部改正」の件
- 第 3 号議案 「学会賞選考委員会委員交代」の件
- 第 4 号議案 「水産増殖懇話会委員交代」の件
- 第 5 号議案 「水産技術誌監修委員会委員交代」の件
- 第 6 号議案 「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員選出」の件
- 第 7 号議案 「水産学若手の会(特別委員会)委員追加」の件
- 第 8 号議案 「名誉会員田中昌一氏の追悼文」の件
- 第 9 号議案 「短時間勤務有期雇用職員の賞与」の件
- 第 10 号議案 「平成 30 年度春季大会担当支部」の件
- 第 11 号議案 「平成 30 年度秋季大会担当支部」の件
- 第 12 号議案 「後援」の件
- 第 13 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 3 回理事会以降の職務執行の状況

その他

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

塚本会長が定足数の充足を確認し, 続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき, 塚本会長が議長となり, 本会議の成立を宣言し, 議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「平成 28 年度支部交付金の配分額」の件

佐藤総務担当理事から, 平成 28 年度支部交付金の配分額の前案について説明があった。審議の結果, 出席理事全員一致で次の通り可決した。

|         |            |
|---------|------------|
| 北海道支部   | ¥357,400   |
| 東北支部    | ¥329,100   |
| 関東支部    | ¥527,400   |
| 中部支部    | ¥387,300   |
| 近畿支部    | ¥341,700   |
| 中国・四国支部 | ¥371,400   |
| 九州支部    | ¥385,600   |
| 合計      | ¥2,700,000 |

ただし, 関東, 中部支部については, 平成 27 年度の正味財産期末残高が平成 27 年度支部補助金額

を超過していたため、超過金額を差し引いて配分することとし、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第 2 号議案 「学会賞関連規程の一部改正」の件(別紙1)

荒井克俊学会賞担当理事から、学会賞選考委員会運営規程、学会賞受賞規程および学会賞選考委員会内規の改正案について説明があった。審議の結果、原案を一部修正の上、出席理事全員一致で別紙の通り可決した。

この件について、以下の質疑応答があった。

青木監事:内規改正案の 3)の規程について、その他各種団体からの推薦依頼を受ける度に、理事会に諮ることにすると、作業が煩雑になるのではないか。

荒井(克)理事:今回の内規の改正は、手続きを定めるものである。もし、手続き等が煩雑になるようだったら、今後検討する。

第 3 号議案 「学会賞選考委員会委員交代」の件

佐藤総務担当理事から、学会賞選考委員会委員の交代について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[辞任]和田時夫 [選出]杉村治男

第 4 号議案 「水産増殖懇話会委員交代」の件

佐藤総務担当理事から、水産増殖懇話会委員の交代について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[辞任]白鳥 勝 [選出]小嶋智一

[辞任]滝井健二 [選出]澤田好史

[辞任]藤井大地 [選出]小野 淳

第 5 号議案 「水産技術誌監修委員会委員交代」の件

佐藤総務担当理事から、水産技術誌監修委員会委員の交代について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[辞任]田中 眞 [選出]増元英人

第 6 号議案 「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員選出」の件

佐藤総務担当理事から、「東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)委員について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

委員長 河村知彦

副委員長 八木信行, 神山孝史

委員 秋山秀樹, 浅川修一, 石丸 隆, 大越和加, 木島明博, 黒倉 壽, 佐藤秀一, 塚本勝巳, 萩原篤志, 森田貴己, 山下 洋, 良永知義, 和田敏裕, 和田時夫

第 7 号議案 「水産学若手の会(特別委員会)委員追加」の件

佐藤総務担当理事から、水産学若手の会(特別委員会)委員の追加について原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出]杉浦大介, 中林信康, 佐藤正人, 澤井雅幸

第 8 号議案 「名誉会員田中昌一氏の追悼文」の件

佐藤総務担当理事から、名誉会員田中昌一氏の追悼文について原案の説明があった。審議の結果、原案を一部修正の上、出席理事全員一致で可決した。

第 9 号議案 「短時間勤務有期雇用職員の賞与」の件

佐藤総務担当理事から、短時間勤務有期雇用職員の賞与について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で賞与の支給を可決した。

第 10 号議案 「平成 30 年度春季大会担当支部」の件

佐藤総務担当理事から、平成 30 年度春季大会担当支部について資料に基づき説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で、平成 30 年度春季大会の担当は関東支部とすることを可決した。担当機関については、関東支部が今後検討する。

第 11 号議案 「平成 30 年度秋季大会担当支部」の件

佐藤総務担当理事から、平成 30 年度秋季大会担当支部について資料に基づき説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で、平成 30 年度秋季大会の担当は中国・四国支部、平成 31 年度秋季大会

の担当は中部支部とすることを可決した。なお、担当機関については、それぞれの支部が今後検討する。

#### 第 12 号議案 「後援」の件

佐藤総務担当理事より後援希望 1 件について説明があり、審議の結果、出席理事全員一致で以下の後援を可決した。

後援： 公開シンポジウム「東日本大震災に係る食料問題フォーラム 2016」

共催 日本学術会議農学・食料科学・健康・生活科学委員会合同東日本大震災に係る食料問題分科会，農学委員会・食料科学委員会合同農業情報システム学分科会，農芸化学分科会，農業委員会農業経済学分科会，食料科学委員会水産学分科会，畜産学分科会，食の安全分科会，臨床医学委員会放射線防護・リスクマネジメント分科会

後援 日本農学アカデミー 他 10 学会

日程 平成 28 年 7 月 4 日(月)

場所 日本学術会議会議室(東京都港区)

希望 後援

負担金 なし

#### 第 13 号議案 「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

(報告事項)

第 3 回理事会以降の職務執行の状況

・会長

塚本会長より、次の報告があった。

- 1) 釜山で開催された第 7 回世界水産学会議への参加報告があった。
- 2) 会長就任挨拶がホームページに掲載された。

・庶務関係

佐藤総務担当理事より、次の報告があった。

- 1) 会長指名理事候補者について

岡崎恵美子(海洋大)，山下神也(日本水産(株))，重 義行(大日本水産会)を会長指名理事候補者とする。今後、これらの候補者の諾否について支部幹事による投票が行われる。

- 2) 学会賞選考委員会委員選出選挙について

支部幹事へ 7 月中に選挙依頼を発送し、8 月に開票予定である。

- 3) 資格喪失者(会費未納)の会費納入による退会者への変更について

伊熊公章(正会員，平成 27 年度資格喪失)

岡野桂樹(正会員，平成 27 年度資格喪失)

谷村健斗(正会員，平成 27 年度資格喪失)

- 4) 平成 28・29 年度支部幹事の変更

中部支部 飯田貴次(近畿支部に移動) 吉岡 基[選出]

奥澤公一(九州支部に移動) 淀 太我[選出]

岡内正典(退会) 末武弘章[選出]

日向野純也(中国・四国支部に移動) 森 広一郎[選出]

山田浩且(辞退) 津本欣吾[選出](支部長指名)

- 5) 平成 28 年度各種委員会委員長及び副委員長の決定

平成 28 年度各種委員会委員長及び副委員長が決定された旨報告があった。

この件について、以下の質疑応答があった。

塚本会長：副委員長が空欄になっている委員会がある。

佐藤理事：副委員長を置いていない委員会か、副委員長が未決定となっている委員会である。

菅野理事：水産利用懇話会委員会の副委員長は 2 名ではないのか。

佐藤理事：確認する。

- 6) 協賛及び後援について

共催，協賛，後援の取り扱い申し合わせ 3)を適用した。

2016 年度生態工学会年次大会

主催 生態工学会  
協賛 照明学会 他 12 団体  
日程 平成 28 年 6 月 24 日(金)・25 日(土)  
場所 宮崎グリーンズフィア壱番館 KITEN(宮崎県宮崎市)  
希望 協賛  
負担金 なし

平成 28 年度 JABEE 農学系分野審査講習会

主催 農業農村工学会, (公財)農学会, 森林・自然環境技術者教育会,  
日本生物工学会  
協賛 日本造園学会 他 14 学会  
日程 平成 28 年 6 月 25 日(土)  
場所 東京大学弥生講堂(東京都文京区)  
希望 協賛  
負担金 なし

2016 年度日本冷凍空調学会年次大会

主催 日本冷凍空調学会  
協賛 エネルギー・資源学会 他 30 団体(予定)  
日程 平成 28 年 9 月 7 日(水)~9 日(金)  
場所 神戸大学工学研究科・工学部学舎(兵庫県神戸市)  
希望 協賛  
負担金 なし

第 57 回高圧討論会

主催 日本高圧学会  
共催 筑波大学, 高エネルギー加速器研究機構  
協賛 54 学協会  
日程 平成 28 年 10 月 26 日(水)~29 日(土)  
場所 筑波大学大学会館(茨城県つくば市)  
希望 協賛  
負担金 なし

平成 28 年度岩手県三陸海域論文知事表彰事業

主催 岩手県  
協賛 東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター,  
他 3 団体(予定)  
後援 宮古市, 他 38 団体(予定)  
希望 後援  
負担金 なし

第 35 回『海とさかな』自由研究・作品コンクール

主催 朝日新聞社, 朝日学生新聞社  
後援 文部科学省 他 4 団体  
協力 日本動物園水族館協会  
協賛 日本水産株式会社  
希望 後援  
負担金 なし

7) 事務職員への期末手当および勤勉手当について

規定に従い加算額を決定し, 事務職員への期末手当と勤勉手当を支給する。

企画広報関係

良永担当理事より, 企画広報委員会が作成した日本水産学会誌記事の編集方針(案)について報告があった。

#### ・財務関係

山下担当理事より、次の報告があった。

- 1) シュプリンガーからの Fisheries Science 81 巻ロイヤリティの振込金額について  
銀行振込金額 15,977,816 円(平成 28 年 5 月 16 日入金済み)
- 2) 寄附金の受取について  
平成 28 年 4 月 4 日 正会員 北田修一会員より 100,000 円。  
平成 28 年 4 月 27 日 正会員 有元貴文会員より 100,000 円。  
平成 28 年 4 月 27 日 正会員 東海 正会員より 10,000 円。  
この件について、以下の質疑応答があった。

荒井(克)理事:ロイヤリティ収入を増やすために、会員はどのようなことをすればよいのか。

山下理事:論文掲載数や論文のダウンロード数(オンラインでの購入)を増やすことが考えられる。

#### ・編集関係

黒倉担当理事より、次の報告があった。

- 1) 平成 28 年度の科研費による出版助成金は 340 万円である。平成 29 と 30 年度は、それぞれ 330 万円と 400 万円の予定である。
- 2) Fisheries Sciences.com への投稿等への勧誘について、紛らわしい雑誌名を使用しないよう、佐藤理事の名前で出版元へ抗議した。また、6 月 7 日付けで、会員へ注意喚起のメールを送信した。
- 3) Fisheries Science 誌の表紙を募集中である。
- 4) 7 月に委員会を開催予定である。

#### ・学会賞関係

荒井克俊担当理事より、次の報告があった。

- 1) 農学進歩賞の候補者の選定作業中である。
- 2) 日本水産学会の各賞への推薦を受付中である。

#### ・シンポジウム関係

古丸担当理事より、次の報告があった。

- 1) 3 月 29 日に第 1 回と 6 月 2 日に第 2 回委員会(メール会議)を開催した。
- 2) 平成 28 年度秋季大会において、シンポジウム 1 件とミニシンポジウム 4 件を開催する。
- 3) 平成 29 年度春季大会における、シンポジウム 2 案を検討中である。

#### ・出版関係 担当理事 欠席

#### ・水産技術誌監修関係

秋山担当理事より、次の報告があった。

- 1) アサリ垂下式養殖技術に関する特集号を 9 巻 1 号として刊行する予定である。本号の企画編集委員会は 6 月下旬から 7 月上旬に開催予定である。
- 2) 査読済原稿は 3 報、査読中および査読前原稿は 14 報である。査読済原稿が 5 報になったら、受理審査委員会を経て 9 巻 2 号を刊行する。
- 3) 平成 28 年度は 3 号まで刊行できる見込である。
- 4) 第 1 回水産技術誌監修委員会を 7 月末に開催予定である。

#### ・国際交流関係

和田担当理事より、釜山で開催された第 7 回世界水産学会議への参加報告があり、次回は、アデレード大学ギランダー教授を会長、前アメリカ水産学会会長パリッシュ教授と東京海洋大学佐藤秀一教授を副会長とし、オーストラリアで開催予定であるとの案内があった。

#### ・水産教育関係

荒井克俊担当理事より、平成 28 年度秋季大会において、ミニシンポジウムを開催するとの報告があった。

#### ・水産政策関係

黒倉担当理事より、次の報告があった。

- 1) 3 月 27 日に第 1 回水産政策委員会を開催した。
- 2) 平成 28 年度の活動予定について説明があった。追加すべき活動が他にないか、意見交換した。
- 3) 「文化 13(1816)年江戸内湾漁業協定書 200 周年記念 再現！神奈川集會」と題するワークショップ

の開催案内があった。

4) 「開発途上国の水産資源管理に係る国際協力」という題目で、平成 29 年度春季大会でシンポジウムを開催することを検討している。

・漁業・資源管理関係

和田担当理事 特になし。

・水産利用関係

菅野担当理事より、次の報告があった。

1) 3月21日に第1回水産利用懇話会を開催し、平成28年度の活動予定を決定した。

2) 7月11日に第2回委員会と第1回講演会を開催する。講演会の題目は「ハラル認証に係る諸問題」である。

・水産増殖関係

萩原担当理事 特になし。

・水圏環境関係

山下担当理事より、次の報告があった。

1) 6月3日に沿岸環境関連学会連絡協議会主催のジョイントシンポジウム「我が国沿岸域におけるアマモ場再生への道 これまでとこれから」を岡山県日生町で開催した。参加者数は200名超であった。

2) 6月4日に「全国アマモサミット2016 in 備前」を開催した。参加者数や約1000名であった。

・男女共同参画関係

良永担当理事より、平成28年度春季大会期間中に意見交換を行ったとの報告があった。

・社会連携関係

古丸担当理事 特になし。

・将来計画関係

青海担当理事、特になし。

・北海道支部、地域連携関係

塚本会長より、東北・北海道合同支部大会の開催案と準備状況について報告があった。また荒井(克)理事より補足があった。

・東北支部、地域連携関係

秋山担当理事より、次の報告があった。

1) 北海道支部との合同支部大会については上記の通り。

2) 支部の運営体制が確定した。

3) 支部幹事交代の申し出があった。

4) NPO法人natural scienceが主催するシンポジウム「学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2016」を支部が後援する。7月17日東北大学川内キャンパスで開催される。

5) 6月に会報を発行予定である。

・関東支部、地域連携関係

菅野担当理事より、次の報告があった。

1) 支部幹事の異動について確認中である。

2) 7月中に支部幹事会を開催予定である。支部幹事会では、運営規程の改定を審議する予定である。

3) 平成28年度春季大会における水産学若手の会の活動に対し支援を行った。

4) 平成29年度春季大会の準備状況について次の説明があった。

a) 運営体制が確定した。

b) 平成23年度春季大会をベースに準備を進める。

c) 東京海洋大学との共催は困難である。

d) ポスター発表会場を楽水会館ではなく体育館もしくは中部講堂とすることを検討している。

e) 6月中に企画会社と打ち合わせを行う。

・中部支部、地域連携関係

古丸担当理事より、次の報告があった。

1) 支部の運営体制が確定した。

2) 12月3日に支部大会を福井県立大学小浜キャンパスで開催予定である。

・近畿支部, 地域連携関係

塚本会長 特になし。

・中国・四国支部, 地域連携関係

塚本会長より, 次の報告があった。

- 1) 支部例会を 10 月 22,23 日に広島大学生物生産学部で開催する。
- 2) 支部例会において「瀬戸内海の漁業資源の現状とこれから(仮)」という題目でシンポジウムを行う。

・九州支部, 地域連携関係

中田担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 支部の運営体制が確定した。
- 2) 熊本地震への対応として, 支部長が会員の安否, 被害状況を確認した。

・英文書籍監修委員会(特別委員会)

佐藤担当理事より, 3 冊が進行中であり, そのうち, 1 冊は今年中に出版できる見込であるとの報告があった。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)

山下担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 6 月 11 日に委員会が開催され, 委員長と委員長が選出された。
- 2) 災害復興支援拠点の今後の役割等について意見交換を行った。今後, 災害復興支援拠点は継続し, 役割等については委員会で検討する。

・水産学若手の会(特別委員会)

塚本会長より, 次の報告があった。

- 1) 平成 27 年度活動内容について説明があった。
  - a) 新委員 4 名が委員会に加わった。
  - b) 若手の情報交換を目的としたメーリングリストを運営した。
  - c) Facebook ページを運営した。
  - d) 勉強会・研究会を開催した。
  - e) 月刊養殖ビジネスに記事を連載した。
- 2) 平成 28 年度事業計画について説明があった。
  - a) 新委員 4 名が委員会に加わった。
  - b) 平成 29 年度春季大会においても, 企画を行う。
  - c) 月刊養殖に記事を連載する。
  - d) SNS による情報交換を行う。
  - e) 日本学術会議若手アカデミー「若手科学者ネットワーク」に参加する。

・日本水産学会創立 85 周年記念事業委員会(特別委員会)

青海担当理事より, 次の報告があった。

- 1) 国際シンポジウム委員会が作成したパンフレットを釜山で開催された第 7 回世界水産学会議で配布した。日本水産学会でも配布する。
- 2) 国際シンポジウムの主要題目の日本語訳が示された。

この件について以下の質疑応答があった。

黒倉理事: 主要題目 13 にある Social Science の和文は社会科学ではないのか。もしくは, 社会学とするならば英文を Sociology とすべきではないのか。

山下理事: 主要題目の和文は, 委員には知らされていない。委員には知らせて欲しい。

青海理事: これらについては, 委員長に確認する。

- 3) 募金について, 各支部委員から選ばれた募金委員が募金依頼先リストを作成した。これに従って募金活動を進める。

- 4) まもなく, 募金の趣意書が完成する。

- 5) 記念事業を効率的に進めるために東京海洋大学において事務体制を整えるために, 事務員を雇用する。

・財務検討委員会(特別委員会)

山下担当理事より, 平成 28 年度は, 9 月に理事会を開催しないことに伴い, 旅費が増加する見込であ

るとの報告があった。

・水産・海洋科学研究連絡協議会関係

塚本会長より、次の報告があった。

1) 5月31日に水産・海洋科学研究連絡協議会が東京海洋大学で開催された。

この件について、黒倉理事、和田理事および青木監事より補足説明があった。

・学会間で情報交換が行われた

・日本学術会議と水産・海洋科学研究連絡協議会とで11月18日に開催予定のシンポジウム案を検討中である。

その他確認事項

・平成28年度理事会開催日程

佐藤総務担当理事より、平成28年度理事会の開催日予定の説明があり、一部変更の上、日程を確認した。

・平成28年熊本地震への対応

塚本会長より、平成28年熊本地震への対応について説明があった。

この件について、以下の質疑応答があった。

塚本会長：日本水産学会のホームページに九州支部がまとめた被害状況報告が掲載されている。会費免除等の被災者への配慮は必要か。

黒倉理事：東日本大震災への日本水産学会の対応について説明があった。

和田理事：被災状況から鑑みて、東日本大震災への対応ほどの対策は必要ないのではないかと。水産庁や水産研究・教育機構では、被災地からの要求に応えられる体制は整えているが、現時点では特に要求はない。

中田理事：熊本大学と熊本県立大学の学生を近隣大学で受け入れているが、水産分野では特に対応はしていない。継続的な情報収集を行う。

萩原理事：日本農芸化学会等では被災学会員に対し、会費免除や大会参加費の免除を行っている。

黒倉理事：罹災学会員がいれば、何らかの免除をすべきである。被害記録を残すべきである。

和田理事：全国内水面漁業協同組合連合会と水産研究・教育機構を通じ、水産関連の被災状況を確認する。

佐藤理事：罹災学会員の会費免除については、次回の理事会で検討したい。

塚本会長：特別委員会やワーキンググループの立ち上げは必要か。

和田理事：今回は特別委員会等の設置は必要ないだろう。九州支部が中心となり、情報収集を行い、今後対応を検討してはどうか。

塚本会長：特別委員会等は設置せず、今後も九州支部が中心となり、情報収集を継続して欲しい。

以上をもって議案の審議等を終了したので、16時06分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

平成28年6月11日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監事

監事

